

第4級アマチュア無線技士が運用できるおもな周波数帯(バンド)と電波の型式(モード)

HF	3.5MHz帯 3.500~3.575MHz 3.599~3.612MHz 3.680~3.687MHz	SSB (J3E) AM (A3E)	・夜間や朝方に国内交信が楽しめる ・冬の季節は特に安定して国内交信が楽しめる ・夏の季節はあまり遠距離交信は望めない
	3.8MHz帯 3.702~3.716MHz 3.745~3.770MHz 3.791~3.805MHz		・夜間や朝方に国内交信が楽しめる ・冬の季節は特に安定して国内交信が楽しめる ・夏の季節はあまり遠距離交信は望めない
	7MHz帯 7.000~ 7.200MHz		・1年を通して安定して国内通信が楽しめる ・全国のたくさんの方の局が運用している ・夜から朝の時間帯は海外局と交信できる可能性もある
	21MHz帯 21.000~ 21.450MHz		・国内をはじめ海外との交信の可能性が高い ・春から夏にかけては国内の遠距離交信が楽しめる ・HF帯の入門バンド
	24MHz帯 24.89~ 24.99MHz		・HF帯とVHF帯の両方の性質を体験できる ・国内をはじめ海外との交信の可能性が高い ・春から夏にかけては国内の遠距離交信が楽しめる
VHF	50MHz帯 50~ 54MHz	SSB (J3E) FM (F3E)	・HF帯とVHF帯の両方の性質を備えている ・伝播の状態いかんで意外な国とも交信が可能 ・このバンドからFMも運用できる
	144MHz帯 144~ 146MHz		・バンド幅が広いのが特長 ・入門用のバンド ・移動運用もさかんで、夏の季節には遠距離交信も楽しめる
	430MHz帯 430~ 440MHz		・FMモードによるモービル運用がさかん ・小型のハンディ機による入門用のバンド ・中継局(レピータ)を使えば広範囲な交信も可能 ・D-STARのDVモードなどインターネット接続による通信が増えつつある
UHF	1200MHz帯 1260~ 1300MHz	AM (A3E)	・FMモードによるモービル運用がさかん ・中継局(レピータ)を使えば広範囲な交信も可能 ・運用局が少なく比較的空いている
	2400MHz帯 2400~ 2450MHz		・市販の機器が少ない ・中継局(レピータ)を使えば広範囲な交信も可能 ・運用局が少なく比較的空いている

※上級資格を取得すると運用できるバンドがさらに増えます。

アマチュアバンドプランを守って正しい運用をおこなひましょう!

アマチュア無線で使用するバンドには上表以外にも、長波帯からマイクロ波帯まで、さまざまなバンドが割り当てられています。そして、それぞれのバンドで運用するモードや形態によって、運用の周波数の区分「アマチュアバンドプラン」が国のルールのもとに定められています。
みなさんも「アマチュアバンドプラン」を守って、正しい運用を心がけてください。「アマチュアバンドプラン」の具体的な区分は別に定めておりますが、アマチュア局が動作することを許されている周波数帯は、135kHz帯から248GHz帯まで多岐にわたっています。

JARLへ入ろう!

会員サービスますます充実

●各地で行われるミーティングなどのイベント参加

(平成27年の例) ○3月:西日本ハムフェア(福岡県) ○7月:関西アマチュア無線フェスティバル「関ハム」(大阪府) / 東海ハムの祭典(愛知県) ○8月:アマチュア無線フェスティバル「ハムフェア」(東京都) ○9月:北海道ハムフェア(札幌市)

このほか、都府県ごとの支部(北海道は道内8支部)でも、ハムの集い、ミーティングなどが開催されます。

●QSLカード転送、アワード収集、コンテスト参加など楽しさいろいろ

QSLカード(交信証)の転送、個性豊かなデザインのアワード(賞状)収集、交信テクニックを競うコンテスト参加、電波発射源を探して野山を走るARDFなど。

●機関誌「JARL NEWS」やメルマガのご利用

●インターネットの会員専用ページのご利用

●青少年(18歳未満)の方は会費助成制度で年会費が半額!

さらに、入会金免除特別キャンペーン実施中!(平成30年6月まで)

※行事等は変更になることがあります。

モールス符号をユネスコの無形文化遺産へ

JARLは、世界のアマチュア無線家と力を合わせて、モールス符号のユネスコ文化遺産登録を目指しています。



詳しくはこちら

JARL

検索

<http://www.jarl.org/>



一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 (JARL) <http://www.jarl.org/>



JARL 〒170-8073 東京都豊島区南大塚3-43-1
Tel.03-3988-8759(会員課) Fax.03-3988-8772(会員部)

一般社団法人日本アマチュア無線連盟(The Japan Amateur Radio League 略称:JARL)は日本におけるアマチュア無線の健全な発展をはかり、あわせて内外の無線科学、文化の向上と発展に寄与することを目的に、わが国のアマチュア無線家を主体として組織されている団体です。

アマチュア無線 ビギニングガイド

The Amateur Radio Beginning Guide

ようこそ アマチュア無線の世界へ!

アマチュア無線は、電波を使った趣味の無線です。

地元の仲間から、地球の反対側まで、

アマチュア無線の交信に国境はありません。

ふしぎでおもしろいアマチュア無線の世界を

いっしょに楽しんでみませんか。

1 アマチュア無線の楽しみ方

1. 近くのアマチュア局と交信する。

アマチュア無線家の間では「ローカル・ラグチュー」と呼ばれています。ご近所（ローカル）のアマチュア局や友達のアマチュア局とおしゃべり（ラグチュー）の交信を楽しむもの。ご近所の意外な方とおしゃべりや、多くの仲間を作ることができます。



2. 車からやハイキング先などで交信する。

車に搭載するものは「モービル機」、ハイキングなどで手に持って使うものは「ハンディ機」と言いますが、それぞれアマチュア無線で移動しながら交信の楽しさを味わうことができます。中には、ヨットなどから交信を楽しんでいる方もいます。



3. 日本中のアマチュア局と交信する。

国内のアマチュア局と交信を楽しむもの。北は北海道から南は沖縄まで、各地の四季おりおりのさまざまな様子やお国自慢が伝わってきます。

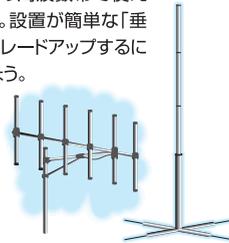


4. 外国のアマチュア局と交信する。

「DX（遠距離）通信」と呼ばれ、全世界のアマチュア局と交信するものです。ある程度の語学力、無線の技術力、通信実技能力それにチャンス待根気も必要としますが、ワールドワイドでアマチュア無線の醍醐味が楽しめます。



2 無線設備の選び方

楽しみ方	トランシーバーの例
<p>1. 近くのアマチュア局と交信する。</p> <p>2. 車からやハイキング先などで交信する。</p>	<p>選ぶポイントは、まず、周波数帯。50MHz、144MHzのVHF帯の製品や430MHz、1200MHzのUHF帯の製品を選びましょう。次に用途に合わせたトランシーバーの形状や重さに注目。自分の部屋に設置したい場合や、自動車に設置する場合は「モービル機」、ハイキングなどのアウトドアには小型の「ハンディ機」を選びましょう。</p>  <p>アンテナの例</p> <p>選んだトランシーバーの周波数帯で使えるアンテナを選びます。設置が簡単な「垂直型」が入門者向け。グレードアップするには「八木型」を選びましょう。</p> 
楽しみ方	トランシーバーの例
<p>3. 日本中のアマチュア局と交信する。</p> <p>4. 外国のアマチュア局と交信する。</p>	<p>HF帯のトランシーバーは、10万円位の入門向けの製品から、100万円を超えるベテラン向けのハイグレードな製品があります。HF帯はいろいろな周波数帯があり、楽しむ目的や季節などによって変わる電波の飛び方にあわせて運用する周波数帯を選びます。</p>  <p>アンテナの例</p> <p>入門向けには「ワイヤーアンテナ」や「垂直型」。本格的に楽しむには、鉄塔を建設して「八木型」を設置します。</p> 

3 開局までの流れ

① 免許をとろう!

公共の電波を使うには、まずアマチュア無線技士の免許をとりましょう! 免許をとるには、「国家試験」と「養成課程講習会」の2つの方法があります。

【問い合わせ先】

■国家試験

公益財団法人日本無線協会

<http://www.nichimu.or.jp/> 電話:03-3533-6022(試験・免許関係)

■養成課程講習会

一般財団法人日本アマチュア無線振興協会

<http://www.jard.or.jp/> 電話:03-3910-7210(養成部)

② 用紙の購入

JARLが販売している、アマチュア局を開局するための申請書は、トランシーバーやアンテナを取り扱っている販売店で購入することができます。トランシーバーやアンテナを選ぶ際に、お店の方に書き方を含めて相談しましょう。

③ トランシーバーなどの購入

トランシーバーやアンテナは、アマチュア無線機を取り扱っている販売店で購入できます。アマチュア無線を楽しむ目的や予算などを気軽にお店の方に相談して選んでください。

(注)トランシーバー等を購入しても無線局免許状が送られてくるまでは、電波の発射はできません。

④ 開局申請書類の作成

JARLが販売している申請書には、書き方説明が詳しく書かれています。それに従って必要事項を記入し、収入印紙(50W以下は4,300円)、切手を貼った返信用封筒などを用意します。

⑤ 開局申請書類の提出

申請書類を提出できる準備ができましたら、郵便局から住所を管轄する総合通信局あてに簡易書留郵便で送付しましょう。

⑥ 免許状の取得

無線局免許状が送られてきたら開局しましょう。

このほかに、アマチュア局開局申請の手続きは、かんたんのできる電子申請の制度もあります。くわしくは総務省電波利用・届出システムLiteをご覧ください。

総務省 電波利用ホームページ

検索

